

JSCM Most Accessed Paper Award

総会受賞年 アクセス統計年	受賞者	所属	タイトル (掲載)
2011年(H23) 2010	本田大介 <sup>*,**</sup> 小林加永子 <sup>*</sup> 、数本 優 <sup>*</sup> 前川昌樹 <sup>*</sup> 、張 曉峰 <sup>*</sup> 緒方嘉貴 <sup>*</sup> 、榎村真一 <sup>*</sup> 酒井秀樹 <sup>**,***</sup> 、 阿部正彦 <sup>**,***</sup>	*エム・テック(株) **東京理科大学大学院理工学研究科 ***東京理科大学総合研究機構	強制薄膜式リアクターによる銅フタロシアニンナノ粒子の作製(研究論文) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 82[7], 284-289(2009)
2012年(H24) 2011	中島 健 藤波 想 王 東 西 敏夫	東北大学 原子分子材料科学高等研究機構	原子間力顕微鏡による高分子材料の粘弾性評価(総合論文) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 83[3], 100-114(2010)
2013年(H25) 2012	石井利博 橋本和明	アシザワ・ファインテック(株) 千葉工業大学	ビーズミルにおける粉碎粒子の粒子径に及ぼす粉碎条件の影響(技術論文) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 84[5], 163-168(2011)
2014年(H26) 2013	石井利博 橋本和明	アシザワ・ファインテック(株) 千葉工業大学	横型ビーズミルによる炭酸カルシウムの粉碎性能の評価(技術論文) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 85[2], 53-58(2012)
2015年(H27) 2014	森 寛爾	(株)豊田中央研究所塗料研究室	塗膜の硬化過程における架橋密度の追跡手法 -貯蔵弾性率と架橋密度の比例性-(研究論文) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 86[4], 123-127(2013)
2016年(H28) 2015	酒井俊郎 瀬尾桂太	信州大学 工学部 物質工学科	乳化剤フリー油中水滴型(W/O)エマルションの分散安定性:油物性の影響(研究論文) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 87[11], 387-392(2014)
2017年(H29) 2016	前田 壮志 垣尾 大輔 八木 繁幸 中澄 博行	大阪府立大学大学院工学研究科物質 ・化学系専攻応用化学分野	色素増感太陽電池への応用を指向した BODIPY骨格をもつスクアリリウム系色素(研究論文) J. Jpn. Soc. Colour Mater., Vol. 88[7], 208-217(2015)
2018年(H30) 2017	香西 博明 菅野 翔 国友 絢	関東学院大学 工学部理工学科化学学系	「側鎖にアゾベンゼンを有する置換ポリアセチレンの合成と性質」(研究論文) J. Jpn. Soc. Colour Mater., 89[1], 2-5(2016)
2019年(H31) 2018	清水 太基 平野 諒 柴田 雅史 韓 力 山之内 智	東京工科大学応用生物学部  日本水産(株)	オレンジラフィー油の化粧品用オイルとしての性能解析 J. Jpn. Soc. Colour Mater., 90[8], 268-274(2017)

2020年(R2) 2019	宮内恭子 渡邊寛人 山辺秀敏 湯浅真	住友金属鉱山(株)  東京理科大学理工学部	銅張積層板における接着特性に関する考察 J. Jpn. Soc. Colour Mater.,91[5], 151-158 (2018)
2021年(R3) 2020	上坂敏之 遠藤 智 前田壮志、八木繁幸 古川 一 中澄博行	シプロ化成(株) (株)ヘキサケミカル 大阪府立大学大学院工学研究科応用化学分野 大阪府立大学大学院生命環境科学科 大阪府立大学研究機構21世紀科学研究センター	青紫蛍光フィルムによるトマト果実の高リコピン化 J. Jpn. Soc. Colour Mater.,92[9],253-259(2019) .
2022年(R4) 2021	前田 壮志 八木 繁幸 上坂 敏之	大阪府立大学大学院工学研究科応用化学分野 大阪府立大学大学院工学研究科応用化学分野 シプロ化成(株)	5-アミノ-2-(2-ヒドロキシフェニル)-2H-ベンゾトリアゾール誘導体の合成と蛍光特性 J. Jpn. Soc. Colour Mater.,93[6],194-201(2020) .